



答 耐震化事業は平成33年度完了を目指しているところである。平成30年度、31年度には、この事業により起債の借入額がかなり多くなることが見込まれるが、耐震対策を少しでも早く進めるためにも、その都度事業費や財源の見直しを行いながら進めていきたい。
意見 学校の耐震化は優先度が高く、必要性は理解しているが、現在、学校施設以外の公共施設等総合管理計画も進められているところでもあり、その返済が過度の負担とならないよう資金計画について十分協議していただきたい。

産業建設委員会

委員長 福積章男

◆うかい観光活性化事業について

説明 平成29年に大洲市観光うかいが60周年を迎え、また、第22回全国鵜飼サミットが本市で開催されることから、その開催等に向けて進めているもの。

問 補正予算に係る事業の詳細について。

答 主な事業としては、来年度開催される全国鵜飼サミットに向け、俳句コンテストを開催することとしており、俳句作品を6月1日から9月30日までの期間で募集しているところである。市内の小中学校を始め、俳句の団体に応募チラシ等を配布し、募集しており、来年2月頃には審査結果を発表し、その表彰については、来年度開催される鵜飼サミットの席上で行いたいと考えている。その他、う小屋の修繕、事務に伴う人件費なども予定している。

問 募集の周知方法と俳句コンテストの今後の方針について。

答

周知方法については、チラシに加え、観光協会ホームページ及び市広報紙などで募集を呼びかけているところである。

また、今後の方針としては、今のところ今回の全国鵜飼サミットに合わせた事業と考えており、継続して実施する予定とはしていない。しかし、応募状況や、応募者の反応など、状況を見て継続の可能性について検討したいと考えている。

意見 うかい観光ということで、俳句コンテストの実施もよいことであるが、脇川や屋形船を使ったイベント

来年60周年を迎えようかい観光



トなども実施し、より一層、うかい観光の活性化に取り組んでいただきたい。

◆市営住宅耐震補強事業について

問 今後の市営住宅に対する耐震補強などの計画について。

答 現在、市営住宅で耐用年数が経過していない団地は、39団地あり、耐震補強や長寿命化対策の必要性について、調査・検討している。その中で、まずは、鉄筋コンクリート造の建物に絞り込んだ上で、3階以上で1,000平米以上の特定建築物を優先して、計画的に耐震補強などの対策を図っていききたいと考えている。

問 耐震補強だけでは、老朽化に対応できないことから、合わせて長寿命化対策を実施する予定はないのか。

答 今回の工事は、耐震化と併せて長寿命化も図るよう計画している。今後、耐震工事に合わせて長寿命化対策も図り、効率的に実施していきたいと考えている。

◆木造住宅耐震診断事業について

説明 木造住宅の耐震化を促進するため、愛媛県建築士会と業務委託契約を締結し、新たに耐震診断技術者派遣制度を導入するもの。

問 これまでの、木造住宅耐震診断事業の実績と補助額及び派遣制度導入の経緯について。

答 平成17年度から平成27年度で、25件の耐震診断を実施しており、現在の補助額については、4万円を限度に費用の3分の2の補助である。

また、派遣制度導入の経緯については、これまで、導入については、当市の建築士会と協議してきたところであるが、派遣制度に対する認識や費用などの面から、導入は見送っていた。しかし、今回、熊本地震が発生し、問い合わせも多くなったことに加え、派遣制度に対する業者の理解も徐々に得られていることから、より使いやすい派遣制度導入に踏み切ったところである。